会 議 議 事 録

<table>
<tr><td>会 議 名</td><td colspan="3">令和8年度 第1回 学校関係者評価委員会</td><td>専門学校 東京工科自動車大学校品川校</td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="4">2026 年 7 月 9 日 （木） 17 時 30 分 ～ 18 時 50 分</td></tr>
<tr><td>会 場</td><td colspan="4">専門学校東京工科自動車大学校品川校 26 教室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">参 加 者</td><td>委員
（敬称略）</td><td>6 名</td><td colspan="2">（出席：5名）
西岡 竜一郎/千代田 佳愛/木下 昌明/藤澤 洋平/田中 絵里
（欠席：1名）酒井 崇</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>5 名</td><td colspan="2">園田 幸祐/松村 道隆/奥山 美都留/戸塚 真理
（欠席：1名）鈴木 信行</td></tr>
<tr><td>会 議 録

審議事項</td><td colspan="4">1．校長挨拶
・開催に向けて校長の園田より挨拶が行われ、職業実践専門課程の概要と学校関係者評価委員会開催目的について説明があった。

2．委員会成立の確認
・事務局(松村)より1級自動車整備科3年の海外研修に伴い事務局1名の欠席について報告がなされた。参加者の紹介と事務局・委員それぞれより挨拶が行われ、委員 6 名中 5 名出席、1 名の欠席(委任状有り)で本委員会の成立が承認された。

3．学校関係者評価委員および事務局メンバーの確認と議長選出
・本委員会の成立を受け西岡委員が議長、千代田委員が書記として選任された。

4．議事
議案1．前回議事録の確認
・事務局（園田）より前回議事に関して配布資料に基づき報告を行い、本議案1について各委員より承認を受けた。

議案 2.令和 7 年度自己点検評価報告書の評価結果の報告
・事務局（園田）より昨年度の自己点検評価報告書の評価結果に関して説明があり、各委員から承認を受けた。

議案 3.令和 7 年度事業計画実績報告(園田)
事務局（園田）より配布資料に基づき以下の実績報告がなされた。
・令和 7 年度就職実績の報告
・令和 7 年度募集実績の報告
・令和 7 年度国家資格合格実績の報告</td></tr>
</table>

	・令和 7 年度進級・卒業・退学実績の報告 ・令和 7 年度 FD・SD （教職員の能力開発・研修） の実施報告 これらについて説明を行い、本議案3について各委員から承認を受けた。
報告事項	5. 報告事項　令和 8 年度事業計画と取り組み内容 事務局（園田）より以下の計画値等について説明がなされた。 ① 令和 8 年度事業計画 ・令和 8 年度数値目標(就職内定率・国家試験合格目標・進級率目標等)の報告 ・令和 8 年度募集計画の状況報告 ・令和 8 年度就職内定状況報告 ・退学防止 5%以下目標に対して、国内生と留学生の人数、割合であるのかの質問が委員よりあり、事務局(園田)より説明がなされた。 ・留学生の在留期間更新のことや、国別の内訳の変化についての話があった。 ・在籍数に対して就職希望数が1名少ないことに対しての質問があり、編入者がいる事を踏まえた人数である事の説明がなされた。 ② その他 ・藤澤委員より、意欲低下に対してのフォローについての質問があり、事務局(奥山、園田)より今年度についてはタイヤの資格取得があることから、反復練習によって技術習得の実感があったりすることで成功体験の積み重ねがあることや、担任が学生からのシグナルにアンテナを張り都度声をかけること、保護者との連携などの対応について説明がなされた。
その他	6. 意見交換 ・(西岡委員) 就職・人の面で大変苦労している。人間関係の構築や、働いている人が健全な生活を送れるかを見定めている。近年は、メンタルバランスを崩すケースなども散見されている学校生活においては、学校で覚えたことが仕事で生かせないことにくじけてしまうこともある。心構えや精神面、道徳についても、実践課程で強くやっていただけるといいのではないかと思う。今の若手には、人生の組み方や明日をどう生きていくかをカウンセリングしている。実際に、できる・できないを覚えてくることも大事だが、この先どう生きていくかということを伝えられると、長く続けていけると思う。 ・(藤澤委員) 今の子たちは、野望や「こうなりたい」という感情が薄く、そのためすぐ辞めてしまうのかなと思った。上にあがっていく人達は、ガツガツやっていくタイプだと感じる。キャリアの部分は、私達が授業をやるなどして伝えてもいいし、授業の中でも伝えていっていただけるといいと思う。技術は素晴らしいので、ヒューマンの部分を強化すると、活躍していける人材が育つと思う。 ・(田中委員) 先ほどお話があったことと似ているが、就職した後の若い方の離職率について悩んでいるところである。ハーレーダビッドソン専科は、ハーレーダビッドソンへの情熱を持った学生が多いと思う。その熱を持ったまま就職するところまで進んでほしい。学生が悩んだり迷ったりした時に、相談できるところとして、我々企業も協力したい。 ・(木下委員) 学生が昼食を買いに行っている姿を見ていて、楽しそうだと思って見ている。

	自動車業界で女性の方がハーレーダビッドソン専科に入学することはあるのだろうか。また、他のバイクの整備は行うのか。 ⇒（園田）今年はいないが、年度による。現在は他学科には在籍がある。ハーレーダビッドソン専科では、ハーレーダビッドソンを使用して授業を行っている。 ・（千代田委員） 若者は、仕事の面で言われなければやらない人が多い。昔は、情熱を持って取り組んでくれた人が多かったと思う。息子には、情熱を持ち、状態を見て直せる人になってほしいと言っている。 ⇒（西岡委員）本人達には、自分達の希少性に気づいてほしい。手を動かしていく人が生き残っていく世界であり、自動車整備士は生き残る仕事だと思う。世の中は、あと 10 年で AI が仕事をする時代になると思う。 次回は、2026年11月5日（木）開催予定である。 以上の報告および意見交換を以て本委員会を終了した。 以上
会議風景	  